



ひらほく新聞

ひらほく新聞で検索!

★ホームページ ひらほくランド★

http://www.hirahoku.com/

☆バックナンバー含め ひらほく新聞を閲覧・ダウンロード可能です!

発行所 読売センター平塚北部 (ひらほく) 山本 直 〒254-0013 神奈川県平塚市田村9-4-32 電話 0463-54-2807

**はじめの一步有難く
あつく挑戦未知の世界へ
切りひらく輝く未来
笑顔あふゆる未年に**

何のために

12月9日、毎年恒例の職場体験受け入れで、地元神田中学校2年生、男女5名が来社、折込チラシを新聞に挟み込む作業や、実際の夕刊配達など、熱心に取り組んでくれました。そして、今年も動画観賞などから、「何のために働くのか」といったことを共に学んでもらいました。

◎作家・喜多川泰氏語録
「働くこと」とは、「自分の時間をお金に換えて、そのお金を使って生活すること」。そう考えるとき、人生、時間には限度があるから、時間を売って報酬をもらうのでは限度がある。だが、「人を喜ばせて報酬をもらう」という考え方ならば、限度はない。「働く本質」とは、自分の人生の時間を売って、替わりにお金をもらうの

ではなく、「人に、誰かに喜んでもらうことで報酬をもらうこと」。

あまりにお金おとなりすぎずに、「働くこと」そして「勉強すること」の、「何のために」を「自分の人生を使って喜んでくれる人の数を増やすこと」と考える。それをずっと続けていけば自然と報酬としてお金が入ってくる。さらにそれ以外に経験という財産や、いんなものが自分に有り難く返ってくる。

結果にこだわらず、目の前にやってきたものを精一杯楽しむこと。最終的にどこにたどり着くかわからなくても、「いまここに集中する」。そうして楽しい瞬間の経験が続けていたら、自分の内側から沸々と湧いてくる「やってみてみたい」ことに出会う。そして、さらに感じてすぐ動く。その繰り返し先に、まさか自分にこんな能力が！という場所にたどり着く。そのために、必要なものは、「人と出会うこと」。

2015年、平成27年、謹んで新年のお慶びを申し上げます。最初の一步をしっかりと踏み出してあらたに未知の世界へチャレンジ、常に感謝、笑顔を忘れず、輝く未来を切りひらく未年に。皆様とのご縁に感謝いたします。本年もよろしくお願いいいたします。

人と人との出会いとはただ単純に会うだけでなく、形のない思いと思いが会って。そして「自分の人生を使って一人でも多くの人を幸せにしたいと願っている」という思いの人が出会うと必ず奇跡が起きる。

◎屈指の感動講演家、中村文昭氏語録

高い目標を立て、常に意識して決して諦めず夢を叶えるという「目標達成型」ではなく、いただいた役割を有難く受け入れて、目の前のことを一生懸命にやり続ける「天命追求型」の人生を歩んできたという文昭さんが、講演でよく話される「仕事に関する4段階」のお話。

- ①「ライスワーク」
ライス、つまり、食べていくためにする仕事。生活維持のためだけの働き方。
- ②「ライクワーク」
好きなことを追及する生き方で、やりがいを感じる楽しい働き方。
- ③「ライフワーク」
人生の意味や目的を求め、生涯やり続ける価値のある仕事として生きがい溢れる働き方。

④「ライトワーク」
他人に光を当てるといって、天職として社会に貢献する働き方(天命を全うする生き方)。

日常のささいなことでも、これから先の人生のことを考える時でも、『何のために』を考へるのとはとても大切。

・何のために勉強するのか
この仕事をやるのか
何のために

自分の人生を生きるのか
一歩一歩をしっかりと踏みしめて、意味のある人生を歩んでいくために、あなたの『何のために』を考えてみましょう。そのキーワードは…

『人を喜ばせるために』

「若い人が喜んで誰かを喜ばせ、喜びが喜びを生んでいく世の中になつたらすごいこと」。「ありがとう」「おかげさま」とともに。

◎格闘塾塾長「どやさん」こと、山田一夫氏語録
以前、「我勝道」「凡事徹底」など、格闘塾理念をご紹介したどやさん。毎日朝晩継続されている熱い思いが溢れるメルマガより、12月8日朝刊分を転載させていただきます。

『生活と人生』

人が生きる期間を、人生という。人が生きていく上での、生命を維持して、成長させるための様々な活動を、生活という。しかし、人生とは、人が生きると書くが、人のために生きることを書いて、人生なのだ。生活とは、生を動かす書くが、自分の生を、世のため人のために、活かしてこそ、生活なのだ。

人間は、自分がどう生きるか、何のために生きるのか、生きがいとは何か、自分自身の生き様を模索しながら、生きている。自分の力でなんとかすることは、徹底的にやる、すぐに行動に移す。具体策を練り、計画し、とことん、実行する。そして、結果を穏やかに待つ。

相手に決定権があることは、どうしようもないので、すっぱり忘れる。だから、自分が出来る事を精一杯やる。それが自分の幸せであり、ご縁ある人と幸せを分かち合うことなのだ。幸せになりたければ、まず目の前の人を幸せにする。惜しみなく、ワクワクする時間を共有共感する。人生とは、様々な出会う人達との調和で成り立つものだ。

今日も、熱い一日を手にするために、生き切るのだ。

◎生き切るとはふたつ。目の前の事を一生懸命にやること。目の前の人を一生懸命に喜ばすこと。

これを心のど真ん中において、笑顔いっぱい一日を送ることを決めて、さあ朝から破顔一笑、爆走だぜ！(終)

人生の諸先輩の教え、「何のために」は、一緒に同じです。「働く」ともいいます。「楽にする」とは、どんなに小さなことでも、「嬉しい」と喜んでくれる人が一人でも増えること、「ありがとう」って思ってくれる人が一人でも増えること。そんな社会が目指す姿です。最後に発信者不明ですが、総括として勉強と人生についてです。

実は学歴だけでは無力です。勉強とは、良い高校・大学に行くためにするのはありません。でも勉強は大事です。なぜなら、人を喜ばせるには、相手ができないことをやってあげるのが一番だからです。相手ができないことをやるためには、高い技術力が求められ、高い技術力を身に付けるためには、勉強や努力をするしかありません。しかし、たとえ勉強家や努力家であっても、幸せ感の少ない人生を歩んでいる方はたくさんいます。大切なことはただ一つ。

他人の喜びを自分の喜びにできるかどうか、です。人に喜びを与える人生こそ、幸せな人生なんです。

どんな小さなことでも「目の前の誰かの喜びのために」ワクワク自分から動く！常に意識して最幸の未年にしましょう！

**勉強は
将来の自分の為にするものではなく、
将来、自分と出会う
その人を助けあげる
ためにするもの
人は誰かの為に動け
無限のパワーを
発揮せよ**

筆文字の師匠、しもやんのメッセージに3行付け加えて書いてみました☆実は上記、「ライトワーク」のお話も、しもやん語録です!